

**景色とともにウォーキングを楽しむ
桜ざか二期宴 桜ウォーキング**

5月11日、桜ざか一期一宴桜ウォーキングが同実行委員会の主催で開催されました。登別地区の自然を楽しみながら散策することを目的に実施する同イベントは春恒例の行事として定着しています。

当日は晴天に恵まれ、ヌプルを出発した約50人の参加者たちは、桜ざか駐車公園、カムイワッカ、カント・レラまでの3つのコースから、それぞれの体力に合わせ散策を楽しみ、爽やかな汗を流しました。

また、ウォーキングの後には、登別前浜産のエビ汁が振る舞われ、参加者は心地よい運動の後の一杯を味わっていました。

5 / 11



▲それぞれのペースでウォーキングを楽しむ参加者たち

**若い人こそ注意が必要
消費者月間『消費者の日』街頭啓発**

5月12日、登別明日中等教育学校で消費者月間『消費者の日』に合わせた街頭啓発を登別消費者協会の主催で実施しました。

特殊詐欺の被害は、高齢者のみにとどまらず、近年は副業を巡るトラブルなど、若者を中心にネットを利用した悪質なケースが多くなっているため、毎年5月の消費者月間に合わせて同協会が高校生などを対象に啓発を行っています。

当日は、同協会の会員や市議会議員、市職員が集まり、登校中の生徒一人一人にパンフレットや啓発品を手渡し「ネット被害に気を付けて」などと声を掛けていました。

5 / 12



▲生徒にパンフレットを渡し声を掛ける参加者



▲ポスターを披露する左から佐藤幸夫日本工学院北海道専門学校副校長、加藤さん、小笠原市長

**ポスターで制度を広くお知らせ
パートナーシップ・ファミリーシップ
宣誓制度周知啓発ポスターが完成**

4月11日、本市が4月1日より開始したパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の周知啓発用ポスターが完成しました。

ポスターは、日本工学院北海道専門学校CGデザイン科の加藤利空教育補助員の協力のもと、性的マイノリティーの尊厳と多様な性の在り方を虹のようなグラデーションで表現したレインボーフラッグに使用される6色を用いて見かけた方の目を引くデザインに仕上がっています。

同制度について、詳しくは市公式ウェブサイトをご覧ください。

4 / 11



▲完成した竹とんぼの試験飛行をする親子

**遊びと学びを体感
第2回郷土資料館まつり**

5月10日、市教育委員会は、ボランティアグループSLGと共催で郷土資料館まつりを同館で開催しました。

郷土資料館内の展示と体験をつなぎ「遊び」と「学び」の双方を体感できるこのイベントには、あいにくの雨天にも関わらず、100人が参加。屋外での行事は中止となりましたが、参加者は鉄製の焼き型を使ったせんべい焼き体験や竹とんぼ作り、バードコール作り、アイヌ模様の製作を体験したほか、こまやけん玉、めんこなどの昔の遊び体験を楽しみ、また、館内を巡るチャレンジシートで楽しく学びを深めていました。

5 / 10